

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H27活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	地域特性を活かした観光振興事業	H24～H33						
1	瀬長島観光拠点整備事業	H24～H28	H24年度策定の「瀬長島観光拠点整備基本計画」を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等を整備し、島全体の利便性の向上を図る。	瀬長島内の施設並びに設備等の整備を実施。(委託業務、屋外トイレ棟、無電柱化340m、中道道路250m、防犯灯施設530m)	全体整備計画の76%完了(中道道路、屋外トイレ、無電柱化整備の完了)による瀬長島全体の利便性向上	(今後の展開方針) 平成28年度事業完了に向けた施設整備 瀬長島における将来の来島者数 目標値:160万人 (平成28年度以降)		
	文化観光創出事業	H24～H33	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・豊見城城址跡地用地(約35,500㎡)の取得と立木等の補償 ・親水空間ゾーン等の園路等施設基本設計 ・園路と雨水排水施設・上下水道施設等の実施設計及び整備	平成30年度中の一部供用開始に向けた事業の着実な実施(用地全体の約60%確保)、園路等の整備)	【今後の展開】 ・用地取得と立木等の補償(～H30年) ・園路等の施設整備 ・駐車場の整備 ・グスクの復元(～H33年)	10月変更(計画変更に伴う各目標変更) 12月変更(計画変更に伴う各目標変更)	
	とみぐすく祭り事業	H26～H33	豊かな自然環境、恵まれた地勢のみならず、歴史文化に育まれた子どもエイサーや棒術や旗頭等の伝統芸能、豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつなく響むまちとみぐすく」を実現していくことを目的とする。	「とみぐすく祭り」への開催支援	とみぐすく祭りの来場者数:91,000人 基準年(26年):約90,500人	(今後の展開方針) H28年度以降の来場者について、前年度比に対する増を目指す		
	観光振興等支援事業	H25～H29	市観光協会などが実施する観光資源の開発やイベント事業を支援することにより、観光振興や地域振興に取り組む担い手となるまちづくり団体を育成し、観光振興に取り組める環境づくりを図る。また、オフシーズンの誘客対策として新たな特色ある観光事業の誘致や開催を検討する。	豊見城市観光協会等の補助対象団体等への支援により、観光事業の誘致や開催を促進し、地域活性化を促す。	主要観光施設における観光客数 約230万人(H23年度) 約285万人(H27年度)	同事業の周知を広く行い、更なる観光客の誘客促進、地域活性化を図る。 H28入域観光客数:299万人 H29入域観光客数:307.5万人		
	観光振興地域環境美化強化事業	H25～H33	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、美らSUNビーチ、レンタカーステーション、沖縄アウトレットモールあしびなー、ホテルへ繋がる市道沿いに、平成25年度に植栽した花木の管理を引き続き行い、美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	植樹樹の除草清掃(1390樹、3回除草清掃) プランターの植栽管理(464個) 防風ネットの設置(238個)	植樹樹の除草清掃、プランターの植栽管理による魅力ある観光地の形成	(今後の展開方針) 植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
パ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			景観計画策定事業	H25 ～ H27	地域独自の風景を活かした景観像を明確にし、観光地にふさわしい景観形成を実現するため、景観計画を策定する。	景観計画の策定 景観条例の制定 景観ガイドラインの策定	地域独自の風景を活かした景観像の明確化 良好な景観形成に向けた施策の決定及び実施	(今後の展開方針) 景観計画及び条例等に基づく届出制度の運用等	
			与根漁港複合施設整備事業	H27 ～ H28	複合施設を設置し、漁港利用者及び遊漁船利用者の利便性を高め、漁業活性化を図る。	与根漁港複合施設整備基本計画の策定(鮮魚直売所、テナント、事務所等の設置及び配置、延床面積488.9㎡)	工事実施に向けた施設等の規模及び内容等の確定	(今後の展開方針) H27基本計画 H28詳細設計 建築工事 遊漁乗客数 基準年(H25) 2,500人 H28 2,600人	
2			持続可能な安全・安心なまちづくり事業	H24 ～ H28					
			防災情報通信設備整備事業	H24 ～ H27	本庁舎と市内沿岸地域、集落地域とを無線で結び、屋外拡声装置を取付けた防災無線子局を当該地域に設置する他、防災無線室など本部機能等の関連施設等を整備して防災無線システムを構築する。	ゆたか小学校、ゆたか幼稚園、豊見城市市民体育館、めぐみの森保育園、沖縄県立豊見城南高等学校と市内8箇所へ屋外拡声子局を設置	必要とされる箇所へのカバー率を100%とする	(今後の展開方針) 平時より防災訓練や試験放送を通して、本システム設置した施設との情報共有を図り、迅速な災害対応を行うようにする。	
			低炭素社会構築事業 (省エネ設備導入促進事業)	H26 ～ H28	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	自治会等所有の防犯灯約900基をLED化	自治会等が設置した防犯灯が排出するCO2約116,915kg減量 基準年度:平成26年度(389,718kg)	[平成28年度] ・自治会防犯灯約900基をLED化 ・市管理照明設備等をLED化 本事業を通して、市民の省エネ意識を向上させ、市民協働による低炭素社会の構築を推進するとともに自治会等が設置した防犯灯のCO2の約30%の削減(対H26年度比)へ向けて活動を行う	
			航空機騒音自動測定機器導入事業	H27	那覇空港は、観光立県を目指す沖縄県の産業振興や交流・物流の拠点として重要な役割を果たしており、空港に近接する本市の観光振興にも大きく貢献している。一方で、頻繁に離発着する航空機(民間機・軍用機)の騒音による住民の生活環境への影響が課題となっている。 快適な住民環境を図るには、那覇空港から発生する航空機騒音の実態を把握する必要があるため、航空機騒音測定機器を購入・設置し、那覇空港周辺地域の航空機騒音を測定する。	航空機騒音測定器1台の購入・設置	那覇空港周辺地域における航空機騒音状況の把握	将来の快適な住民環境形成を目指す 測定結果を市HP等で公表し情報を共有する。 関係機関と連携し改善策等を検討する。	5月変更 (事業追加)

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
パ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			地域特性を活かした産業活性化事業	H24 ～ H33					
			とみぐすく産業まつり事業	H25 ～ H33	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業のPRを行い産業の進行を図る。 また、異業種間での情報交換や交流の場とすることで、産業界間の連携を生み出し新たな産業の創出を図る。	実行委員会が開催する祭りの経費負担	とみぐすく産業まつりの来場者数:33,000人 (基準年:平成26年度約32,000人) 事業所間連携による新商品・サービスの開発 3件	(今後の展開方針) H28年度以降の来場者を前年比+1,000名を目指す。 事業所間連携による新商品・サービスの開発を毎年度3件以上を目指す	
			豊見城産マンゴー販売促進事業	H24 ～ H27	豊見城産マンゴーは、県の拠点産地に認定されるなど、評価が高いことから産地ブランド化を目指して県内外での販売促進活動を実施する。	豊見城産マンゴー販売促進活動 6回	豊見城産マンゴー県外出荷量 H27:215t (4年目)【H23:211t (基準)】	(今後の展開方針) 平成27年度で事業終了ではあるが引き続き市一般財源において、事業を継続する。	
			県外販路拡大支援事業	H26 ～ H31	市内事業所が開発した商品・サービスの販路拡大を図る目的のため県外・海外において開催される展示会・見本市等への出展に対する支援を行う。	県外・海外で開催される、展示会・見本市等へ出展する事業者への支援 15事業者	市内事業者の県外からの受注件数 3件	市内事業者の県外からの受注件数を毎年度3件以上を目指す	
			衛星船舶電話整備支援事業	H27	衛星船舶電話を整備することにより、漁業操業の安全確保、緊急時の対応、トラブル回避が図れる。	衛星船舶電話の整備 25機	衛星船舶電話の整備による、漁業操業の安全性向上。	漁業操業の安全確保、漁場におけるトラブル回避、海上での事故及び緊急時の対応が可能となり、安心して漁業操業ができる。	
			豊見城産トマト・葉野菜販売促進事業	H27 ～ H29	豊見城産トマトは、県の拠点産地に認定されており又、葉野菜は県内有数の産地となっている。 トマト・葉野菜は施設整備が進み生産量も増加傾向にあるが今後、県内外において販売促進のための活動を実施する。	豊見城産トマト・葉野菜販売促進活動 6回	豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H27:528t (1年目)【H25:369t (基準)】	(今後の展開方針) 豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H25:369t(基準) H27:528t(1年目) H28:543t(2年目) H29:563t(3年目)	5月変更 (事業追加)
			優良母牛導入支援事業	H27 ～ H29	優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定を図り、農業振興を図ることを目的とする。	優良母牛の導入に対する補助	優良母牛の導入頭数 H27年度:15頭(1年目導入率33%)	(今後の展開方針) 優良母牛導入頭数 H28:15頭(2年目導入率66%) H29:15頭(3年目導入率100%)	7月変更 (事業追加)

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考		
パ	細				H27事業内容			H27活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
4			次世代育成支援事業	H24 ～ H33						
			気になる子相談事業	H26 ～ H33	公立・法人・認可外保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応及び乳幼児健診、親子教室等の心理相談により「気になる子」の早期発見・早期支援を図るため、臨床心理士の専門指導員を配置し、相談・支援を行う	・公立保育所2ヶ所、法人立認可保育園15ヶ所、認可外保育施設28ヶ所への巡回相談等の実施 ・乳幼児健診、親子教室等の心理相談等	・保育園等への巡回相談・支援件数80件 【参考：H26年66件(1月末時点)】 ・乳幼児健診等の相談件数80件 【参考H26年65件(1月末時点)】 ・親子教室後親子通園移行件数 7組 【参考H26年6組(1月末時点)】	(今後の展開方針) 障害児保育等の実施、健診及び相談支援部門と保育部門の連帯性の確立、保育士に対する普及啓発や研修の実施		
			幼稚園給食導入事業	H26 ～ H27	市内幼稚園では、預かり保育の需要が高まっている状況を考慮し平成27年度から学校給食の導入を行うが、新たに発生する幼稚園への給食配送及び回収業務に対応するため、給食センターのプラットフォームの増設工事を行う。	・給食センタープラットフォームの増設工事(施行面積:23.1㎡)	市立幼稚園への学校給食提供体制の構築	安全、安心な給食の定時提供を行う		
5			生きる力を育む人材育成事業	H24 ～ H33						
			学力向上サポート事業	H24 ～ H33	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数(各学校1人) 小学校:8人 中学校:3人	全国学力調査での全国平均との差 小学校4教科平均 +2.0ポイント(維持) H26年の差 +1.9ポイント 【全国平均(66.2点) 本市(68.1点)】 中学校4教科平均 -6ポイント(0.6ポイント改善) H26年の差 -6.6ポイント 【全国平均(64.4点) 本市(57.8点)】	平成33年度まで事業を維持し、全国平均との差を小学校+2ポイント、中学校0ポイントとする。		
			情報教育補助員派遣事業	H24 ～ H33	ICT教育補助員を派遣し、コンピュータを活用する授業で、教員をサポートしたり、児童生徒の指導を行うことにより、積極的にICTを活用した授業を実施する。	情報教育補助員配置数:3人	ICT機器等活用率:前年比+0.5ポイント (参考:平成25年度 小学生84.16ポイント 中学生49.56ポイント)	平成33年度まで継続的に情報教育補助員の配置を行い、ICT機器等活用率90ポイントとする。		
			適応指導教室学習支援員配置事業	H24 ～ H33	不登校児童生徒やその保護者に対し指導員を配置し、教育相談や適応指導等の適切な支援を行うことにより学校復帰及び社会的自立を支援する。	適応指導教室学習支援員配置数 適応指導教室:2人	学校復帰率:10%(学校復帰した児童生徒/教室に在籍した児童生徒)	平成33年度まで継続的に適応指導教室学習支援員の配置を行い、学校復帰率30%を維持する。		
			自立支援教育指導員配置事業	H25 ～ H33	不登校や問題行動のある児童生徒の日中の居場所を確保し、学級復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置する。	自立支援教室指導員配置数 中学校:3人(各中学校1人)	市内中学校における問題行動発生率 前年比-5% (平成25年度 小学校:22件、中学校:44件)	平成33年度まで継続的に自立支援教室指導員を配置し、対象生徒数を各学校生徒数の1.5%以内に		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		計画 期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
	スクールソーシャルワーカー 配置事業	H27 ～ H33	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、児童相談所や福祉事務所等の関係機関とのネットワークを構築し、社会福祉の観点から支援を行い、教育相談体制を整備する。	SSW配置数:1人 市内小学校8校、中学校3校への巡回配置	支援対象ケース改善率 3%(改善ケース/支援対象ケース件数)	平成33年度まで継続的にSSWを配置し、関係機関との連携構築を行い、維持する。	
	登校支援員配置事業	H25 ～ H33	不登校や不登校傾向にある児童やその保護者に対し、相談等の支援を充実するため、登校支援員を配置し巡回など行う。	登校支援員配置数 小学校:4人(小学校2校につき1人)	市内小学校における不登校児の学校復帰率10% (復帰人数/利用児童数) (平成26年度(平成27年1月末時点) 復帰率10%)	登校支援員の継続配置を行い、学校復帰率(復帰人数/利用児童数)の改善(平成33年:30%)を図る。	
	学習支援補助員配置事業	H26 ～ H33	市内各中学校等の別室にて不登校(心因性や遊び・非行型)や問題行動のある生徒の生活指導や学習支援等を行うため、学習支援補助員を配置する。(主に中学校、状況に応じて小学校に配置する。)	学習支援補助員配置人数 中学校等:3人(中学校区に1人)	問題行動等改善率:30% (補助員が関わった課題のある児童生徒のうち改善が見られた児童生徒数/補助員が関わった課題のある児童生徒数)	平成33年度まで継続的に学習支援補助員を配置し、問題行動等改善率を30%を維持する。	
	パソコン教室整備事業	H25 ～ H33	パソコンを活用した学習カリキュラムを実施し、生徒の学習への興味、関心を高めながら学力の定着及び向上を図る他、情報端末操作技術の向上等、情報活用能力の向上ため、市内各小中学校におけるパソコン教室に備品(パソコン)を整備する。	2学校のパソコン教室のパソコン整備 (サーバー機1台、先生機1台、生徒機42台)	ICT機器等活用率:前年比+0.5ポイント (参考:平成25年度 小学生84.16ポイント 中学生49.56ポイント)	(スケジュール) 平成28年度:とよみ小、伊良波小 平成29年度:長嶺小、座安小 平成30年度:上田小、豊見城小 平成31年度:長嶺小、豊崎小 平成33年度までのICT活用率90ポイントとする。	
	デジタル教科書整備事業	H27	画像、音声及び動画など、マルチメディア資料を豊富に含むデジタル教科書を各小学校へ整備し、パソコン教室や電子黒板で活用するなど、学習環境の向上を図ることにより、児童生徒の学習に対する興味・関心を高める。	市内8小学校へのデジタル教科書の整備(国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭科)	全国学力調査での全国平均との差 小学校4教科平均 +2.0ポイント(維持) H26年の差+1.9ポイント 【全国平均(66.2点) 本市(68.1点)】 中学校4教科平均-6ポイント(0.6ポイント改善) H26年の差-6.6ポイント 【全国平均(64.4点) 本市(57.8点)】	(今後の展開方針) H28:中学校のデジタル教科書整備 全国平均との差を小学校+2ポイント、中学校0ポイントとする。	
	外国人英語講師配置事業	H25 ～ H33	児童生徒の英語学習や国際理解教育の向上を図るため、外国人講師を配置する。	外国語英語教師(ALT)の配置数 外国人:4名	児童生徒の英語学習への興味・関心度 66%(アンケート対象:市内小中学校全ての児童生徒) (参考:平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査 沖縄県「英語活動が好き」小中学校 約66%)	外国人英語講師を継続配置し、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、県学力到達度テスト県平均±0を目指す。	
	小学校英語活動講師派遣事業	H25 ～ H33	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を派遣する。	英語指導講師派遣校数 小学校:8校	児童の英語学習への興味・関心度75%(アンケート対象:市内小学校全ての児童) (参考:平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査 沖縄県「英語活動が好き」小学校第6学年 約75%)	英語活動講師の継続派遣を行い、小学生の英語に対する興味関心を引き出すとともに、中学校進学後における県学力到達度テスト県平均±0を目指す。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
パ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			児童生徒派遣費補助事業	H25 ～ H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ派遣される場合に要する旅費等の支援を行う。	県代表として県外大会へ派遣される児童生徒への支援	H27年度:370名目標 (参考:平成25年度実績276名)	(今後の展開方針) 33年度まで児童生徒の派遣費の支援を行う	
			青少年国際交流事業	H25 ～ H28	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	市内中学生14名をハワイ州に派遣報告会の開催(1回)	語学力向上等の興味関心度90%以上 (参考:H26「語学力の向上が図られた」93%)	(今後の展開方針) 県内で開催される国際大会(世界のウチナンチュ大会等)にボランティアとして派遣し、語学力を向上させる。	
			電子黒板整備事業	H25 ～ H27	平成25年度、26年度の普通教室、特別支援教室、及び理科等の特別教室への整備に加え、次年度増学級が見込まれる学校へ新たに電子黒板を整備する。	電子黒板12台の整備	電子黒板12台の整備完了	(今後の展開方針) 全国平均との差を小学校+2ポイント、中学校0ポイントとする。	12月変更 (事業追加)
6			文化のまちづくり推進事業	H24 ～ H28					
			文化財説明板設置事業	H24 ～ H27	本市に存する文化財に説明板を設置し、文化財に係る地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	市内文化財説明板設置 設置件数5基 ホームページを活用した文化財説明板設置個所の紹介	見学者が文化財へ訪れやすい環境の整備	(今後の展開方針) 「史跡めぐり」等行事・イベントの開催やホームページ閲覧数の向上等で周知・紹介の機会を増加させる。地域住民には文化財保全の促進を促し、観光客には新たな観光資源の提供として活用していく。	
			「しまくとぅば」普及小冊子作成事業	H27	会話や伝統行事など、日常的に使用する地域の「しまくとぅば」をまとめた小冊子を作成し、市民に配布し、豊見城市独自の「しまくとぅば」の普及促進を図る。	豊見城市の「しまくとぅば」資料収集 小冊子作製 部数15,000部 音声CD作成 数量500枚	収集した「しまくとぅば」の資料化 「しまくとぅば」の学習材整備	(今後の展開方針) 小冊子を活用し、豊見城市独自の「しまくとぅば」の普及促進を図る。児童生徒が「しまくとぅば」で日常的なあいさつ程度を理解・使用出来ることを目指す。 また、一般市民に対し、「しまくとぅば」の普及活動を推進する機運を高めていく。 (把握方法:児童生徒に理解度等に関するアンケートを実施する。一般市民に小冊子受領の動機や活用事例等のアンケートを実施する)	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		竈(饒波)修復事業	H27 ~ H28	饒波自治会より本市に「竈」の寄贈を受けたが、現状のままでは虫食いの被害が著しい状況である。そのため、保存処理及び復元等を行い、地域に根差していた、かつての葬制のあり方を後世に伝えるために展示活用を行う。	竈の防腐防虫等の保存処理1基	竈の保存処理完了により復元方法を決定	(今後の展開方針) H28:修復作業1基 H29~:豊見城市歴史民俗資料展示室で常設展示を行い、地域の民俗文化の紹介を通じて、豊見城市の観光資源の厚みにも寄与していく。	
		小中学校「空手」習得事業	H27 ~ H33	沖縄空手会館が本市に建設されることに伴い、沖縄の伝統文化である空手を習得し、演武できる児童生徒を輩出するため、市立小学校において、クラブ活動の時間に「空手」指導、中学校において、体育の授業を活用し、「空手」の指導を行う。	空手指導者の派遣 小学校8校、中学校3校	習得率(演武できる割合) 60%(習得人数/受講児童生徒数)	平成33年まで継続的に講師による授業を展開し、習得率100%を目標とし、沖縄文化を習得した人材(児童生徒)の輩出を行う。	
7		公営墓地整備事業	H27 ~ H31					
		公営墓地整備事業	H27 ~ H31	H24年度策定の「豊見城市墓地基本計画」を踏まえて、公営墓地を整備し、墓地の散在化を防止するため候補地調査を実施する。	公営墓地の候補地選定	・候補地の課題等を把握 ・平成28年度の公営墓地の形態や使用を決定する際の基礎資料を整備	(スケジュール) H28年度:公営墓地の形態や仕様の決定 H29年度:基本設計 H30年度:実施設計 H31年度:工事施工	5月変更(事業追加)

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。